

Fracti

data & fact & action
SVI-lab.

一人の“流れ”を可視化する

街ゆく人々はどんなことを考えながら歩いているのでしょうか？

一見するとよく分からない人の流れにも、何かの規則性が隠れており、新しい一手を打つためヒントがあるはずです



Service

人々の行動を、スピーディーに、手に取るように捉えるためのデータインテリジェンスツールです。ただし定型的なツールではなく、“みたいものを可視化する”ことに徹底的にこだわり、クライアント様が具体の根拠を持って次のアクションを起こせるように、伴走しながら構築します。

可視化/KPI設計/予測

行動ビッグデータ



カメラ



GPS



Wifi



カーナビ



クライアント様の保有データ



会員属性



購買情報



ICカード



アプリログ

顧客ニーズの理解
需要の把握

客観データに
基づく施策検討

施策の効果計測

EBPM / Smart-city

まちづくりに関する自治体のEBPM推進やスマートシティの実現を支援

都市活動モニタリング

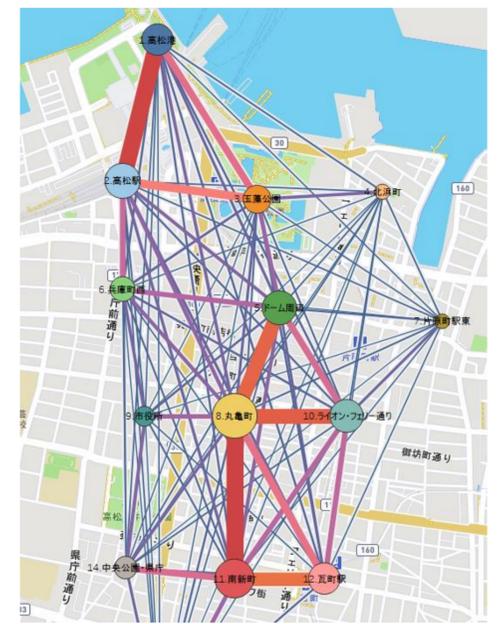
データ取得から、データの意味づけ、アウトプットまで、全体を俯瞰してサポート

適切なデータの選定

それぞれ特性が異なるため、分析目的に応じたデータの選定が必要です

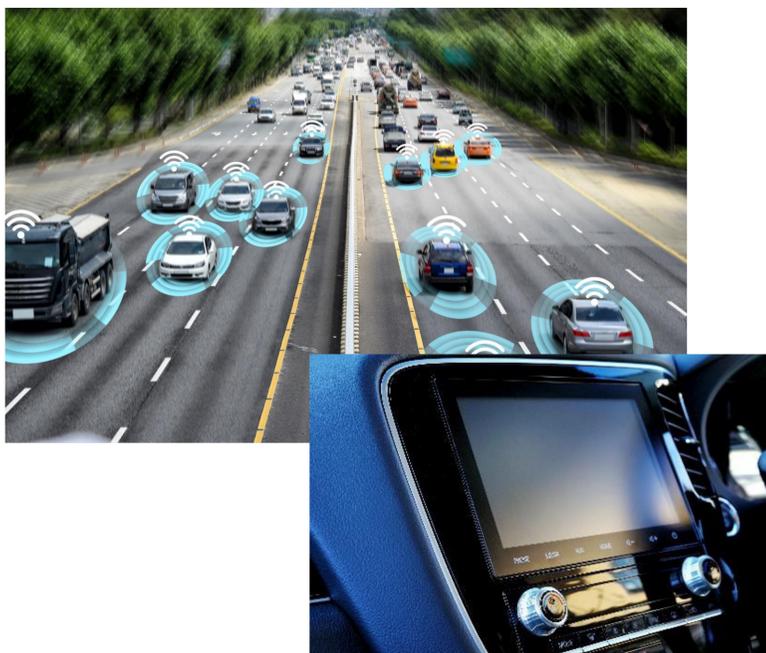


アウトプット/事例



道路交通マネジメント

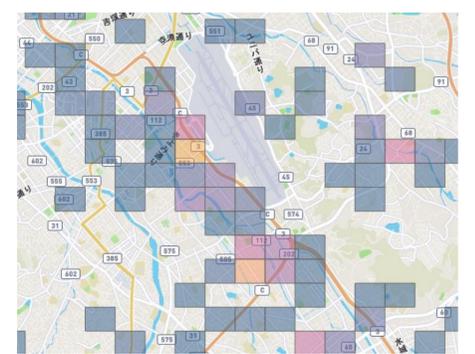
カーナビ等から取得した自動車の走行ビッグデータを基に、交通解析が可能



Ex.交通流分析



Ex.起終点分析



渋滞対策

渋滞状況と要因を把握し、対策を検討



観光活性化

人気ルート特定し、観光振興策を検討



Mobility Management / MaaS

需要の見える化による新しいモビリティの導入や、公共交通の運営を支援

次世代モビリティ導入支援 | OD分析



1 検討の基礎となるOD需要の把握

—位置情報データや統計データを組合せてODを推定

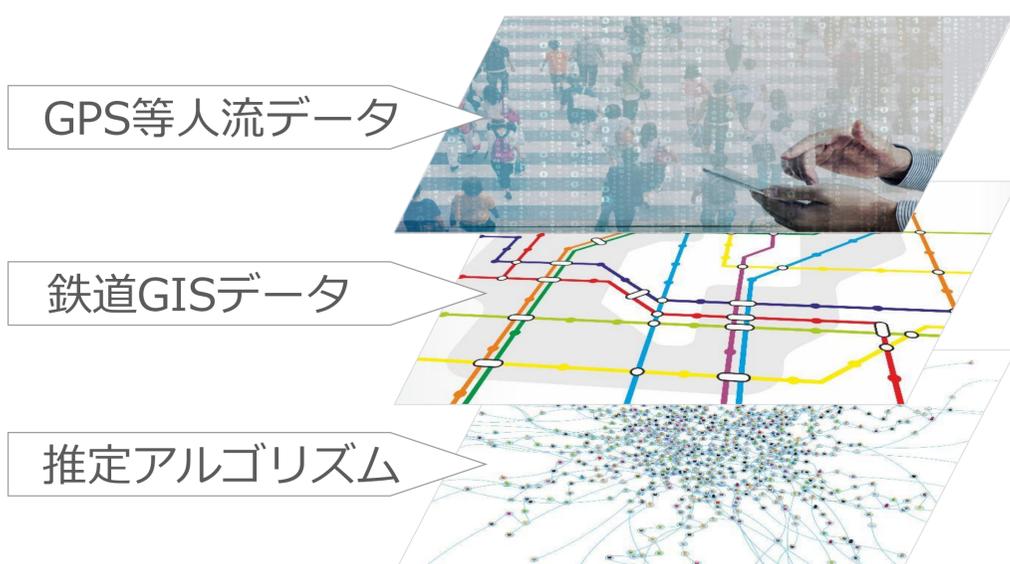
2 需要予測とマネジメント

—新しいモビリティを導入する際の**需要予測**、**計画策定**、**運用スキーム**など多面的な検討を支援

—持続的に課題をモニタリングできる**マネジメントツール**を構築

鉄道混雑モニタリング

スマートフォン等から得られる人の移動情報を用いて、鉄道の混雑率を推定



case 1 リモートワークや時差出勤の**根拠をもった目標設定**

case 2 大規模イベント開催時の**ピーク平準化施策**の検討

case 3 MaaS時代の**弾力的な料金形態**の検討、合意形成

▼混雑率の時間推移



Area Management

人流等の可視化により、プレーヤー間の合意形成とアジャイルなまちづくりを支援

歩行者の回遊シミュレーション



1 カウント調査不要で通行量を把握できる

—GPS等の行動データをもとに、歩行者数を推定することで、**面的な通行量の把握**が可能に

2 効果的な回遊促進策の検討ができる

—過去の行動データから予測モデルを構築することで、施策を実施した際の**滞在時間や立ち寄り箇所の増加を定量的に予測**

にぎわい施策の効果計測

位置情報を活用することで、まちなか滞在者への情報発信と効果計測が可能に

Ex. オープンスペース利用促進と連動



Facility Management / Marketing

マーケティング施策の効果計測や効率的な商業ビル運営を支援

館内流動の可視化 | マネジメントツール



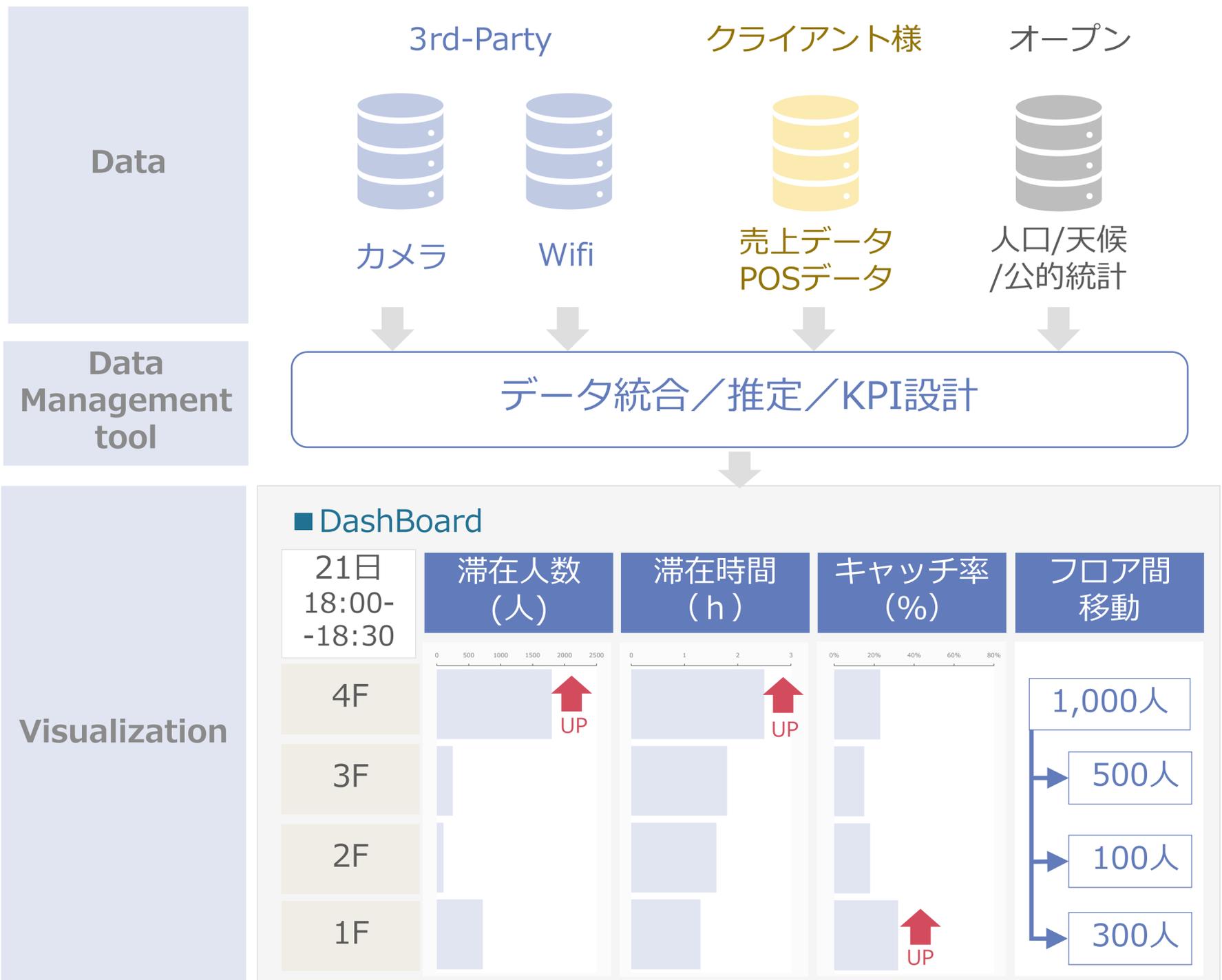
1 館内流動の実態を把握

- カメラやセンサーを活用して、フロア内、フロア間の移動を定量的に把握

2 人流と売上の関係性を分析

- 関係者で課題認識を共有
- 売上UPにつながる効果的な施策を導出

マネジメントツール構成



株式会社 SVI研究所

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-21 住友不動産飯田橋ビル

TEL 03-5805-8860

担当 新規事業推進室 中谷 船本

E-mail nakaya@svi-l.jp , y.funamoto@svi-l.jp